

(様式 2)

議事録番号

提出 年 月 日

会合議事録

研究会名：第 49 回 SPring-8 先端利用技術ワークショップ「高感度型 X 線発光分光・非弾性 X 線散乱計測が拓く元素選択的電子状態研究の展望」

日 時：2020 年 1 月 9 日（木）10 時 00 分～17 時 00 分まで

場 所：名古屋大学 未来材料・システム研究所 共同館 II RB2-2F ホール（〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町）

出席者： 計 43 名（別添参加者名簿）

議題： X 線発光分光 (XES) および非弾性 X 線散乱 (IXS) を用いた電子状態研究の現状と将来展望

議事内容：今回の会合では第三世代放射光施設の高輝度光源の特性を活かした X 線発光分光 (XES) および非弾性 X 線散乱 (IXS) を用いた電子状態研究の現状を理解し、将来展望について議論した。XES/IXS ビームライン担当者（4 名）から装置とその特徴、ならびに最新の研究成果を紹介いただいた。さらに外部ユーザー（4 名）からも XES/IXS を活かした最先端の利用研究について紹介いただいた。SPring-8 には、BL11XU (QST)、BL12XU (NSRRC)、BL33XU (豊田 BL)、BL36XU (電通大)、および BL39XU (JASRI) に XES/IXS スペクトロメーターが設置されており、それぞれのスペクトロメーターには傑出した性能がある。今回のワークショップにおいて、ユーザーはスペクトロメーターのスペックを整理することができ、各々のニーズに応じた適切なビームラインの選択ができるようになったと考えられる。今回のワークショップには、施設者から大学関係者、および企業に至るまで幅広い分野から参加いただき、XES/IXS 装置・手法およびそれを活かした研究に対する高い関心があることが伺えた。今後、XES/IXS を活かした元素選択的・軌道選択的な電子状態の研究へのさらなる利用拡大が期待できる。また、総合討論では、忌憚のない意見をいただき、新たな SPRUC への研究会設置の提案を含め、今後の XES/IXS 利用展開への指針が見出された。